

# こころの便り

第223号

平成30年10月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kiminami@shingu.co.jp  
電話 079-1-75-1212

## 角が取れる

大阪北部地震から何度もの台風、西日本豪雨、北海道胆振地方の大地震と続く自然災害に人ごとは思えない感情が私の中にも湧いてきています。被災された関係者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

大自然が何かを人間に教えようとしているのか、天災というのは人間の生き方に警鐘を鳴らす役割をもつてもいるかもしれません。日本とこの大地が「お互いを思いやる」「明日起きるかもしれないから、充実した今日を生きる」といったことを知らないうちに教えて、私たちの先祖は身につけてきたのかもしれない。

洪水が多発するのは山が整備されなくなったからで、シカやイノシシが田畑を荒らすという獣害も同じことが言えます。何故整備されなくなったのかを考えてみると経済一辺倒の成長戦略が見過ごしてきたこととも考えることができます。分かっているながら知らぬ顔で過ぎてきたともいえるかもしれません。

では、今の便利な時代に見直されているかというところではありません。林業で生活ができなくなり、関わる人が減り、声が政治に届かなくなっているに過ぎないの感があります。日本の家屋は木造建築でありながら、この地震や火事の多い国で何百年もの期間をその役割をしっかりと果たして過ごしてきました。それは、大自然のルールを人間が感じとって、共に生きることを目指してきたからでしょう。人間は「年を取ると角が取れる」と言われます。尖っていた角が経験とともに削られ

て丸く小さくなったと理解する人がほとんどですが、実は、大木に刻まれた年輪と同じように内から膨らんできて、尖った角を包み込むように大きくなることで丸くなっているのです。

経験を積んだお年寄りには知恵があり、多くの村の女子供や若者たちを率いていくのは年寄りの役割でした。今のお年寄りには申し訳ないが、子供よりもひどい人がたくさんいます。孫の子守に散歩をしながら、お菓子を食わせようとしたおじいちゃんの話が新聞に出ていました。孫が嫌がって食べなかつたのでおじいちゃんは「ポイしなさい。」と道ばたにお菓子を捨てさせたというのです。

こんな年寄りが増えていったら世の中はどうなっていくのでしょうか。仕事を通じて成長する人になろうと我が社で呼びかけているのは、せめて、こんな年寄りになってももらいたくないからでもあります。トラックは公道を走りながら仕事をします。気づかないうちに世の中に迷惑をおかけしていることもあるかもしれません。だからこそ、安全運転で手本になる運転をしようとS・I・D・E・C運動を展開しているのです。自分一人で生活しているわけではないし、誰のお世話にもならず生きていけるわけでもないのです。「お互いさま」を意識しながら、美しい街を、住み心地のいい街を創り出していきましょう。それは、私たち国民一人ひとりの義務でもあるのです。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

## 尋常小學校修身書 卷五 兒童用

### 第十三課 勤勞

伊豫の筒井村の農家に作兵衛といふ人がありました。祖先からの借金がたくさんあつたので、その日／＼のくらしもなかく、難儀でした。作兵衛は幼い時から、何とかして家の借金を返したいと思つて、一生けんめいに働きました。

十五歳の時に、母は病気でなくなりました。その後、作兵衛は朝夕食事の世話をし、晝は父と一しよに田畑を耕して置いて、往來の人に賣りました。その草鞋の丈夫なものと、はき工合のよいのが評判になつて、いつもすぐに賣切れました。作兵衛はかやうに夜晝一心に働いたので、村の人は皆、若い者の手本だといつて、ほめない者はありませんでした。

そのうちに家のくらしも次第に樂になり、長い間の借金も残らず返してしまひ、其の上にな少しばかりの田地を買ふことが出来ました。其の時の親子の喜はたとへやうもありませんでした。作兵衛は勇んで村役人の所へ行つて、買った田地を公に自分のものとする手續をしました。村役人たちは作兵衛の買つた田地が悪くて收穫が少いのに、税を納めさせることを氣の毒に思ひました。しかし、作兵衛は、「どんな田地でも骨折つて作つたならば、決してよくならないことはありません。此の村に荒れた田地の多いのは、私どもの骨折がまだ足りない爲だと思ひます。私は出来るだけ働いて、悪い田地をよい田地に仕上げ、村の爲になるやうにしたいと思ひます。」と言ひましたので、村役人たちは、作兵衛の心掛に感心しました。

其の後、作兵衛は、はたして其の田地をよい田地に仕上げました。なほ其の上に、よい田地をたくさん買ふことが出来ました。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いておりました。